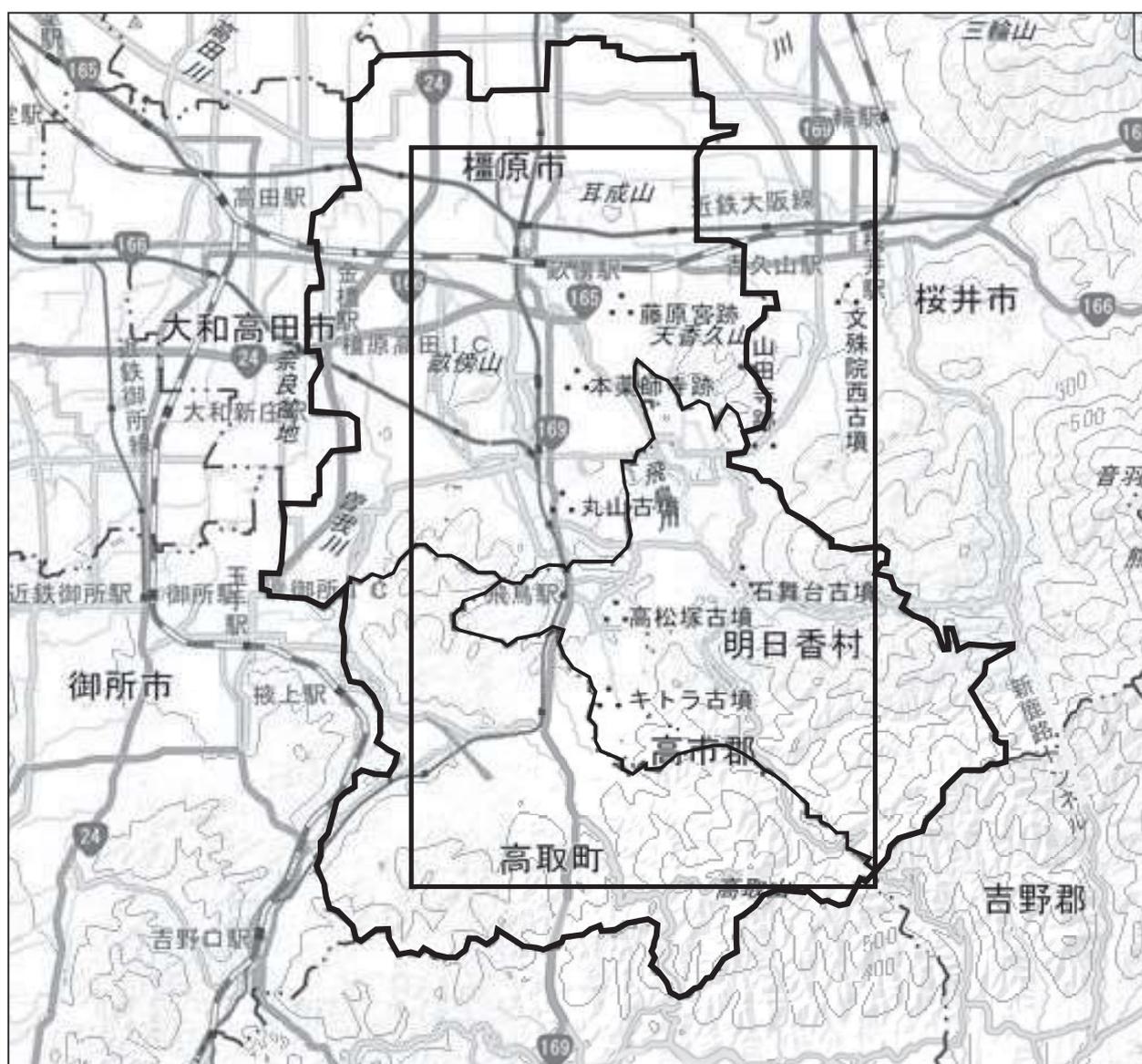


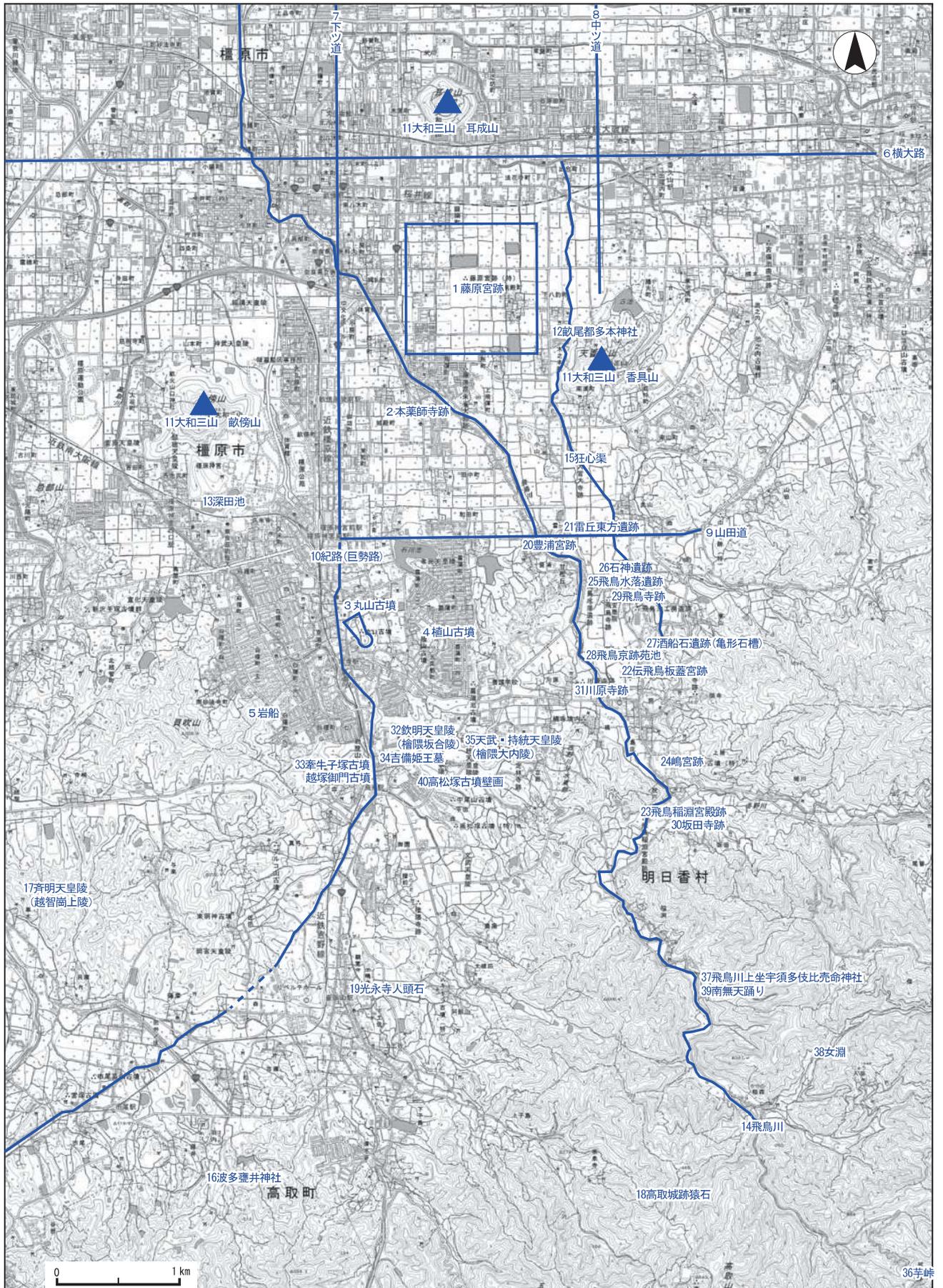
① 申請者	橿原市・高取町・ ◎明日香村	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C <b>D</b> E
③ タイトル			
「日本国創成のとき ～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～」			
④ ストーリーの概要(200字程度)			
<p>日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。</p> <p>この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度の整備が実現された。また、文化面では、女流歌人が感性豊かな和歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しい“かたち”を産み出し、成熟させていった。</p> <p>日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。</p>			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	明日香村教育委員会文化財課		
電 話	0744-54-5600	FAX	0744-54-5602
E-mail	bunkazai@tobutori-asuka.jp		
住 所	〒634-0141 奈良県高市郡明日香村大字川原91-3 明日香村教育委員会 文化財課		

橿原市、高取町、明日香村の位置図



# 構成文化財の位置図

(様式1-2)



## ストーリー

古代飛鳥は女性を受容した新進の時代であったと言っても過言ではない。複数の女帝が誕生し、豊かな感性で、政治にかかわったのも古代飛鳥であり、宗教や文学においても女性たちの活躍を抜きにしては語れない。なぜ国が誕生する時に、女性の存在が大きくなるのであろうか？なぜ、古代において女性がこのように力強く活躍したのであろうか？その答えは、「飛鳥」にある。

**女性が国づくりの原動力**

日本で初めての女帝であった推古天皇は、巫女（シャーマン）的要素を備えつつも、仏教の興隆に力を注いだ。従来どおり神々が宿る自然を厚く敬いながらも、新しい仏教を取り込み、いわば神仏が調和した国づくりをはじめた。そして、東アジア世界と正面から向き合った女性でもある。このような女性の力は、次の女帝・皇極（斉明）天皇にも受け継がれている。八十万の神々が坐す霧囿気が残る奥飛鳥には、女帝が雨乞いをしたという伝承が残り、自然と一体となってその能力を発揮した。斉明天皇として再度即位した頃からは、飛鳥の大開発を牽引していくようになり、その記憶は多くの遺跡や景観として現代にも伝わっている。その思想的背景には、仏教と共に神仙思想が融合したものであり、女帝の圧倒的な意思と指導力がここに垣間見える。激動の時代を経験したことが、女帝の心に大きく響いたのであろう。そして、この国づくりを完成させたのが、持統天皇と夫の天武天皇であった。持統女帝は、夫・天武の国づくりの意思を継いで、「藤原京」を完成させ、大宝律令を制定させた。ここに「日本国」を誕生させたのである。

このように、女性が本来持つ神仏と共感する巫女的な要素と、内に秘めた強い力が、国づくりの原動力となった。



## 女性が輝く仏教興隆と万葉の歌

女性の活躍は、政治だけでなく、宗教や文化の面でもみられる。仏教興隆の先駆者となった我が国最初の僧は、驚くべきことに11才で出家した善信尼と呼ばれる女性であった。彼女は戒律の法を学ぶために百済に渡り、帰国後には、多くの女性を尼僧として得度させた。このことも、古代の女性に巫女的な要素が多く備わっていたことと無関係ではないだろう。

また、『万葉集』には、持統天皇や額田王など、多くの女性歌人たちの歌が載せられている。たとえば古代の中国では、女性の立場になって男性が詩歌を詠むことはあっても、日本のように女性が実質的な文化の担い手とはなり得ていなかった。女性が実際に詩歌を詠み、それが残されていることから、古代日本は女性の時代であったといえるだろう。そこからは、古代の女性たちの生き生きとした声が聞こえてくるようである。



## 新しい国の“かたち”

このように、飛鳥の女性を語ることから、日本が「国家」として歩み始め、東アジアを通じた世界観が見えてくる。飛鳥時代を牽引したのは女性であった。彼女たちの手によって、政治・宗教・文化の各方面で、我が国の新しい“かたち”が産み出されていった。「日本国」誕生に関わった女性の活躍をみると、世界の中でのこれからの新しい国の“かたち”に、女性の“ちから”が注目される。



( 持統天皇 吉野行幸の再現 )

## ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
1	ふじわらきゅうせき 藤原宮跡	国特史	天武天皇と女帝持統天皇合作の都城藤原京の中心をなす宮殿跡。天武が律令国家の確立を目指し建設を始め、持統がその遺志を受け継ぎ完成させた都は、壮大な国家形成の物語を象徴する歴史遺産である。	橿原市
2	もとやくしじあつ 本薬師寺跡	国特史	天武天皇と女帝持統天皇の夫婦合作の寺院跡。皇后（後の持統天皇）の病氣治癒を願って創建を始めた夫の深い愛情と、夫の遺志を受け継ぎ寺院を完成させた妻持統の決意や夫婦愛、絆の強さを感じ取れる。	橿原市
3	まるやま 丸山古墳	国史跡	被葬者の候補として推古天皇が父、欽明天皇の眠る陵墓へ母、堅塩媛 <sup>きたしひめ</sup> を追葬した古墳と考えられている。飛鳥時代を切開いた女帝の母への愛情が偲ばれる。	橿原市
4	うねやま 植山古墳	国史跡	推古天皇が、若くして世を去った最愛の息子・竹田皇子との合葬を願って追葬された古墳。飛鳥時代を強く牽引した女帝の、母としての愛情と疲弊する民を気遣う慈悲の深さがうかがえる。	橿原市
5	いわふね 岩船	県史跡	よこぐちしきせつかく 横口式石槨の未完成品や占星台ともされる謎の巨大な石造物。近くの牽牛子塚古墳の石槨と類似した形態から斉明女帝のために作製を始めたとも見られることできる。	橿原市
6	よこおおじ 横大路	未指定	推古女帝が造った飛鳥の都から難波を繋ぐ <sup>おおさ</sup> 大道である。横大路の開通により大陸との外交窓口であった難波から飛鳥の都にかけて外国使節の往来が活発となり、数多くの先進の文物や情報が将来され、推古女帝の国づくりの大きな原動力となった。	橿原市

7	しもみち 下ツ道	未指定	大和盆地を縦断する直線道路で、その南は巨勢路・紀路へと繋がる。天武・持統合作の都藤原京の建設途上、持統女帝が「藤原京の大路を見に足を運ばれた」と記す道の最有力候補でもある。	橿原市
8	なかもち 中ツ道	未指定	大和盆地を縦断する直線道路で、壬申の乱の広域にわたる戦闘推移を物語る南北道路。来る壬申の乱に備え、大海人皇子とともに妃である後の持統女帝が、大津宮から吉野に移った時の経由地となった飛鳥の嶋宮には中ツ道を通して入られたとみられている。	橿原市
9	やまだみち 山田道	未指定	飛鳥地域の主要な古代官道。推古女帝の外交政策の一環として、遣わされた遣隋使と共に来日した裴世清らが、女帝の宮殿まで通った道。	橿原市 明日香村
10	きじろ (こせじろ) 紀路 (巨勢路)	未指定	下ツ道の南への延長で、紀伊国へと続く古代幹道。真弓丘陵の東辺を南西行し、この沿線上に古墳や寺院・瓦窯跡が見つかっている。斉明・持統女帝はこの道を通り牟呂の湯へと訪れた。	橿原市 高取町 明日香村
11	やまとさんざん 大和三山	国名勝	わが国最古の歌集『万葉集』で多くの歌の題材となった山。特に、額田王を巡る想いを三山に喩えた歌は著名であり、飛鳥時代のリーダー達が詠んだ歌に込められた心模様や活躍した舞台をイメージさせるシンボリック的存在である。	橿原市
12	うねおつたもとじんじや 畝尾都多本神社	未指定	祭神の哭沢女神は延命の神とされ、藤原京の時代に政治を牽引した高市皇子の妃、檜隈女王が夫の延命を願った伝承がある。夫を支える女性達の厚い信仰心を実感できる古社である。	橿原市
13	ふかだいけ 深田池	未指定	推古女帝が大和に造った7つの池の一つで、畝傍池の有力候補地。現存する深田池の広大な水面からは、国土の開発に力を注ぎ、新たな時代を切開いた女帝の偉業が感じられる。	橿原市

14	あすかがわ 飛鳥川	未指定	万葉歌の中でも飛鳥川を詠んだものは多い。この川の流れに、男女の思いを託した歌も詠み込まれており、女性の二人の想いを読み込んでいる。	橿原市 明日香村
15	たぶれごころのみぞ 狂心渠	未指定	斉明女帝が宮の東山に石垣を築くために石材を運んだ運河。女帝が民の声に反してまで行った大土木工事。	橿原市 明日香村
16	はたみかいじんじや 波多甕井神社	未指定	羽田は、推古女帝が百官を従え、薬狩りを行った地である。男性は鹿を狩り、女性は薬草を摘む薬狩りは端午の節句の起源とも言われている。波多甕井神社周辺の羽内遺跡では、大型の掘立柱建物が検出され、推古女帝の薬狩りとの関連が指摘されている。	高取町
17	さいめいてんのうりょう 斉明天皇陵 おちのおかのえのみさぎ (越智岡上陵)	陵墓	斉明天皇と <sup>ほしひとのひめみこ</sup> 間人皇女の墓、 <sup>おおたのひめみこ</sup> 大田皇女の墓。母と娘がひとつの古墳に合葬され、さらに孫娘の墓を陵前に造るなど、三代つづけての親子愛にあふれている。	高取町
18	たかとりじょうあときるいし 高取城跡猿石	町指定	高取城跡にある飛鳥時代の石造物。斉明女帝が、古代のおもてなしの場の盛り上げ役として造ったオブジェ。	高取町
19	こうえいじんとうせき 光永寺人頭石	未指定	高取土佐街道の光永寺にある飛鳥時代の石造物。斉明女帝が、古代のおもてなしの場の盛り上げ役として造ったオブジェ。	高取町
20	とゆらのみやあと 豊浦宮跡	県史跡	豊浦寺跡の下層にある推古女帝の最初の宮殿。我が国はじめての女帝がここで誕生し、ここから飛鳥時代がはじまった。	明日香村
21	いかづちのおかとうほういせき 雷丘東方遺跡	未指定	推古女帝の宮殿。遣隋使の報告を受けて、東アジア世界を意識して作られた本格的な宮殿。この宮殿において様々な政策を実践した。	明日香村
22	でんあすかいたぶきのみやあと 伝飛鳥板蓋宮跡	国史跡	皇極女帝の宮殿で、その後斉明・持統女帝も同じ地に宮殿を建てた。乙巳の変などの事件がおこり、様々な政策が実施されるなど、「日本国」の形成に邁進した場所。	明日香村

23	あすかいなぶちきゆうてんあと 飛鳥稻淵宮 殿跡	国史跡	難波から飛鳥へ還都した時の宮殿「飛鳥川辺行宮」と考えられている。皇極女帝らが一時的に利用した宮殿で、飛鳥川の近くに建てられた。	明日香村
24	しまのみやあと 嶋宮跡	未指定	壬申の乱のおり、ここで天武と持統女帝が過ごした思い出の場所であり、それは子供の草壁皇子に引き継がれた。	明日香村
25	あすかみずおちいせき 飛鳥水落遺跡	国史跡	斉明女帝が我が国で初めて造った漏刻。今に繋がる時間を管理することによって、斉明女帝は人々を支配し、政治体制を充実させた。	明日香村
26	いしがみいせき 石神遺跡	未指定	飛鳥の迎賓館。斉明・持統女帝が、蝦夷や隼人らに対する服属儀礼を須弥山のもとで行うことによって、ここを世界の中心とした。	明日香村
27	さかふないしいせき かめがたせきろう 酒船石遺跡 (亀形石槽)	国史跡	女帝が自ら実践した天皇祭祀の遺跡。ここで、斉明女帝が様々な祭祀を執行することによって、 <sup>まつりごと</sup> 政を行なった。	明日香村
28	あすかきょうあとえんち 飛鳥京跡苑池	史跡・名勝	飛鳥宮に付属する庭園。斉明女帝が宮殿に隣接して造り、東アジアの思想の影響を受けて、もてなしの空間を造作した。	明日香村
29	あすかであと 飛鳥寺跡	国史跡	我が国ではじめての本格的な古代寺院。善信尼が興隆に努力した仏教を、古代寺院としてはじめて開花させた。	明日香村
30	さかたであと 坂田寺跡	未指定	善信尼の父である司馬達等が建立した初期寺院。善信尼の仏教への帰依は父の強い思いをつなぐもので、坂田寺はその象徴的な尼寺でもあった。	明日香村
31	かわらであと 川原寺跡	国史跡	斉明女帝の川原宮の跡地に、息子の中大兄皇子が建立した寺院。亡き母のために、息子が創建するなど、親子愛の絆の強さを感じさせる。	明日香村
32	きんめいてんのうりょう 欽明天皇陵 ひのくまのさかあいのみささぎ (檜隈坂合陵)	陵墓	仏教公伝時の欽明天皇の御陵。被葬者の候補として推古天皇が父、欽明天皇の眠る陵墓へ母、堅塩媛を追葬した古墳と考えられている。飛鳥時代を切り開いた女帝の母への愛情が偲ばれる。	明日香村

33	けんごしづか 牽牛子塚古墳・越塚御門 古墳	国史跡	斉明天皇と間人皇女の墓、大田皇女の墓。斉明女帝の御陵で八角形である。母と娘がひとつの古墳に合葬され、さらに孫娘の墓を陵前に造るなど、三代つづけての親子愛にあふれている。	明日香村
34	きびひめおうのほか 吉備姫王墓	陵墓	欽明天皇陵に隣接する墓。皇極女帝の母である吉備姫王の墓とされている。墓域内には、付近から出土した猿石が4体安置されており、斉明女帝が造らせた石造物とされている。	明日香村
35	てんむ じとうてんのうりょう 天武・持統天皇陵 (ひのくまのおおうちのみさぎ 檜隈大内陵)	陵墓	天武天皇と持統天皇の合葬陵。夫の天武と共に壬申の乱を乗り越え、国造りに励んだ夫婦が、同じ御陵に埋葬されている。夫婦の強い絆を感じられる。	明日香村
36	いもとうげ 芋峠	未指定	飛鳥と吉野を結ぶ古道。壬申の乱直前の吉野行幸で、夫婦の絆を強くした。持統女帝は在位中、夫の面影を求めて芋峠を超えて何度も吉野へ訪れた。	明日香村 高取町
37	あすかかわかみにいます 飛鳥川上坐 うすたきひめのみこと 宇須多伎比売命神社	重文景	飛鳥川上流域にある神社。宇須多伎比売命と応神天皇・神宮皇后を祀る。皇極女帝が雨乞いをしたと伝えられる地に立ち、南無天踊りを今に伝える。	明日香村
38	めぶち 女淵	重文景	飛鳥川源流域に位置し、女神が棲んでいるとされる場所。皇極女帝が雨乞いをした「南淵の河上」の場所とも伝えられている。	明日香村
39	なもとおど 南無天踊り	未指定	雨乞い神事。皇極天皇の雨乞いにはじまったものを神事として現在まで受け継がれている。また、飛鳥川上坐宇須多伎比売命神社にあった南無天踊りの絵馬も残されている。	明日香村
40	たかまつづかこふんへきが 高松塚古墳壁画	国宝	飛鳥美人に代表される極彩色の人物壁画が描かれており、当時の采女の姿など、具体的に復原できると共に、万葉の世界を彷彿させる資料である。	明日香村

- (※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。
- (※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例:国史跡、国重文、県有形、市無形、等)。
- (※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。
- (※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧①

1 藤原宮跡



4 植山古墳



2 本薬師寺跡



5 岩船



3 丸山古墳



6 横大路



構成文化財の写真一覧②

7 下ツ道



10 紀路 (巨勢路)



8 中ツ道



11 大和三山



9 山田道



12 畝尾都多本神社



構成文化財の写真一覧③

13 深田池



16 波多甕井神社



14 飛鳥川



17 斉明天皇陵 (越智崗上陵)



15 狂心渠



18 高取城跡猿石



構成文化財の写真一覧④

19 光永寺人頭石



22 伝飛鳥板蓋宮跡



20 豊浦宮跡



23 飛鳥稻淵宮殿跡



21 雷丘東方遺跡 (出土土器)



24 嶋宮跡



構成文化財の写真一覧⑤

25 飛鳥水落遺跡



28 飛鳥京跡苑池



26 石神遺跡



29 飛鳥寺跡



27 酒船石遺跡 (亀形石槽)



30 坂田寺跡



構成文化財の写真⑥

31 川原寺跡



34 吉備姫王墓



32 欽明天皇陵（檜隈坂合陵）



35 天武・持統天皇陵（檜隈大内陵）



33 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳



36 芋峠



構成文化財の写真⑦

37 飛鳥川上坐宇須多伎比売命神社



40 高松塚古墳壁画



38 女淵



39 南無天踊り



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

## (1) 将来像 (ビジョン)

## 【総合ビジョン】

## 『歴史』『文化』『自然』が息づき 多様な交流が育める 魅力ある“飛鳥”

日本遺産を物語る飛鳥の歴史・文化・自然などの地域資源を活用し、来訪者が楽しんで回遊したり、ゆっくりと滞在しながら飛鳥の魅力を体感し、交流できる空間や仕掛けを創出し“人”“地域”“産業”の元気を生み出す。

## 【上位計画への位置づけ】

『第5次明日香村総合計画』（令和2～6年度）では、「明日香の価値を掘り起こし世界に価値を発信する取り組み」として、世界遺産登録と日本遺産の活用を位置づけている。

「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」をはじめとする日本遺産を「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向けた取組と連携することで、日本遺産と世界遺産が活きる地域づくりを目指す。この取組の基礎となる歴史文化の保存・活用の基本理念として、『明日香村歴史文化基本構想』（平成27年3月策定）では、「日本国はじまりの地」「あすかびとの暮らし」「日本人のこころのふるさと」の3要素が持つポテンシャルを十分に発揮し、相互に関係し合うあすかの価値を“学び、育み、活かす”ことを掲げている。

『橿原市第4次総合計画』（令和3～12年度）では、政策の目標の一つを”みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち”とし、「飛鳥・藤原」の世界遺産登録に向け、関係自治体との連携を強化するとともに市民の機運を高め、「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を促進し、”市民が橿原市の歴史と文化財に誇り愛着を持ち、その心を次世代へ引き継ぐこと”を橿原市の目指す姿に挙げている。

『高取町まち・ひと・しごと創生総合戦略』（令和2～7年度）では基本目標の一つとして『訪れたいまち、住みたいまち 高取』を掲げ、歴史的遺産が数多く点在している飛鳥地方の一角として、新たな観光資源の掘り起こしと磨き上げの手段に“日本遺産「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」の魅力発信（ホームページやストーリー本の作成、シンポジウムの開催、説明板の設置等）を行い、観光資源の魅力創出を図る”と掲げている。

さらに、令和2年11月認定の文化観光推進法に基づく『明日香まるごと博物館地域計画』（令和2～6年度）では、日本遺産「飛鳥」の構成文化財や世界遺産構成資産候補である史跡を文化観光拠点施設と位置づけている。日本国創成の数々のドラマを再現して史跡にストーリー性と付加価値を持たせ、飛鳥地域の歴史的の魅力や特色を伝えるツールとして日本遺産を活用し、文化観光を推進している。

同じく奈良県が策定した『いかす・なら地域計画』（令和2～6年度）では、世界遺産や日本遺産の資産が多く存在することが地域の強みであり、これらを全体のブランディングに活用するとしている。現在、『明日香まるごと博物館地域計画』と『いかす・なら地域計画』が連携して事業を推進している。

### 【ビジョンの詳細】

日本遺産のストーリーや世界遺産登録を通じて、飛鳥地域内に多く所在する歴史文化資源の魅力を世界に発信し、その価値について理解を深める。これにより、来訪者は飛鳥を訪れて、日本国創成の地に残された数多くの歴史文化資源を巡り、美しい自然を堪能し、多彩な体験プログラムを通じて飛鳥時代を体感できるようになり、飛鳥ファンの拡大とリピーター創出の仕組みが構築される。体験プログラムの高付加価値化や受け入れ体制強化による観光客の増加、滞在の長期化、消費単価の底上げを図ることで、経済活動を拡大させていく。

地域住民は郷土への誇りと愛着を高めるとともに、自らが来訪者へのおもてなしを担う。観光事業等の充実によって地域産業が活性化することで、交流人口や移住者の増加を目指す。

文化財や景観の維持管理への協力や寄付の仕組みを明確化することで、来訪者や地域住民が歴史文化資源の意義やその保存の重要性を改めて認識し、自らステークホルダーとなって保存・活用に参加できるようになる。

これらを通じて、歴史文化資源の保存と継承、魅力向上による観光・経済活性化の好循環を持続させる。

### (2) 地域活性化のための取組の概要

飛鳥地域内には多数の歴史文化資源が点在し、日本国誕生の軌跡を物語る多くの魅力にあふれているが、文化資源の多くが地下に埋蔵された文化財であり、その価値を誰もが理解するのは困難である。文化資源の価値をわかりやすく伝えるツールとして日本遺産の活用を進め、インバウンドや幅広い年齢層の来訪者に対してその魅力を適切に伝えるための磨き上げを充実させていく。

日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔けた女性たち～」と世界遺産暫定一覧表記載「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」は、飛鳥地域の文化資源を基盤として日本のはじまりを物語るというコンセプトを共有し、表裏一体の関係にある。世界遺産は令和6年に登録を目指しており、日本遺産のストーリーを通じて、世界遺産構成資産候補の史跡をはじめとする飛鳥の遺跡の価値の「見える化」を図り、飛鳥の魅力を深く伝える国内外への発信力強化に向けた相互活用を進める。

平成27年の日本遺産認定後、6年間の地域活性化計画期間においては、飛鳥時代の女性5人に焦点を当てたストーリーを整理して映像や読本を作成し、周知を図ってきた。

しかし、構成文化財の多くが地下に埋もれた遺跡であり、その価値やそれぞれの関係性を現地で理解することが難しい状態であったことから、構成文化財や周辺環境の整備を進めてきた。特に構成文化財の中でも重要な位置を占める牽牛子塚古墳では、令和3年度完成予定で史跡整備事業を実施中で、現地を訪れてその価値を理解できるような文化財の磨

き上げと完成後の活用にむけたプロジェクトを進めている。また、藤原宮跡では地域住民と共に季節の花の植栽を行ない、藤原宮跡の啓発と来訪者の増加に努めている。

一方、地域産業への貢献や民間事業者との協働については、現在のところ協議会や自治体に関わる形でのボランティアガイド育成や旅行商品造成、コンテンツの作成を行っている。コンテンツの創出と自立できる仕組みの構築を協議会が支え、いずれは民間事業者が主体的に日本遺産のコンテンツを活用できるよう、継続して取り組んでいる。

このようなこれまでの実績と課題を踏まえ、本計画（令和3～5年度）では、以下の取組を重点的に行う。

### 【取組1 現地を訪れて日本遺産のストーリーを感じられる仕組みづくり】

本計画では、5人の女性のうち「斉明天皇」「持統天皇」を重点テーマとし、構成文化財の価値を体感し、深く理解できるような環境整備やコンテンツ制作、ストーリーに沿って関連する構成文化財を周遊する際の利便性向上を図る案内施設機能の強化などにより、現地を訪れて日本遺産のストーリーを感じられる仕組み作りを行う。

斉明天皇が被葬者とされる牽牛子塚古墳では、飛鳥時代に築造された当時の八角形の墳丘を復元する史跡整備を実施するとともに、牽牛子塚古墳の名前の由来となったアサガオを活用して古墳に親しんでもらう「アサガオプロジェクト」を立ち上げており、現地での体験型コンテンツを充実させる。加えて、斉明天皇に関連する構成文化財を巡る周遊ルート上に案内施設設置などを行い、現地への来訪をうながす。また、持統天皇が造営に深く関わった藤原宮跡や本薬師寺についてコンテンツを作成し、地下に埋もれた遺跡を見える化して理解を深める。

- ・ 斉明天皇ゆかりの構成資産周遊ルート上で説明板や休憩施設、案内サイン等の設置（牽牛子塚古墳、斉明天皇陵、猿石・人頭石など）
- ・ 持統天皇と藤原京周辺にまつわるVR、ARの開発公開
- ・ 飛鳥時代の芸能「伎楽」復元等、往時の様子を体験できるプログラムの開発 等

### 【取組2 インバウンドに対応できる環境整備と人材育成】

作成した読本「飛鳥女史紀行」は日本語・英語対応で、webサイトは5カ国語に対応しており、映像と合わせてインバウンド対応に役立っている。

世界遺産登録後のインバウンド需要も見据え、現地の解説板や案内施設の多言語化、Wi-Fi設備の充実、VRなどの映像を用いた直感的な理解を促すコンテンツ造成等のインバウンドに対応したハード整備を継続して進めるとともに、キャッシュレス化、共通券や一本化した予約システムの構築、交通整備など、国内外の人々が安心・安全かつ快適に周遊できるような環境整備を進める。また、プロフェッショナルガイド育成プログラムやファシリテーターの養成、ボランティアガイドの充実により、個別ニーズに対応した満足度の高いガイドや外国人来訪者への対応を強化し、集客と産業の活性化を図る。

- ・「牽牛子塚古墳と越塚御門古墳」「藤原宮跡と本薬師寺跡」等、構成文化財での日本遺産を活用した解説コンテンツの制作
- ・インバウンド客をターゲットとした体験型の旅行商品の開発
- ・共通券システムや予約・手配の一括管理システムの検討、構築
- ・検定制度によるプロフェッショナルガイドの養成 等

### 【取組3 普及啓発及びプロモーション、マーケティングの強化】

これまでインターネットによる情報発信を行っており、YouTube での映像再生回数は509,587回（R3.3時点）だが、現地への来訪の動機付けにつながっていない。また、日本遺産を冠した旅行商品は実施に至る件数が少ないものの、構成文化財を対象とした商品やコンテンツは催行実績が好調である。

旅行商品開発にあたっては、構成文化財の知名度や世界遺産登録を活かしつつ、日本遺産のストーリーを盛り込み、コンセプトを「体験型」「高付加価値化」へシフトしていくことで特別感を演出する。富裕層や若い女性層など、対象を明確化した商品開発や啓発活動によりプロモーションを強化して、来訪者増加と、現地での消費拡大を図っていく。

また、文化財や景観の維持管理のために広く協力金や寄付金を募る仕組みの構築や、文化財を活用した収益化の仕組みづくり、ふるさと納税等にも活用できる商品開発など、経済サイクル確立に向けた取組をすすめる。

- ・富裕層をターゲットにした「学び」「体験」に重点を置いた旅行商品の開発
- ・小規模化/高付加価値化/オペレーションのデジタル化を通じた体験プログラムの造成
- ・ふるさと納税や文化財等への協力金・寄付金の募集の工夫による財源確保
- ・日本遺産関連の物販商品開発

### （3）自立的・継続的な取組

#### 【ストーリーの継続的な地域への浸透と地域の担い手の育成】

地域内では飛鳥の歴史文化に対する認識は広く浸透しており、日本遺産への周知も進んでいる。SNSの更新、webサイトでの情報発信も協議会にて継続して実施できている。今後は、次世代を担う小中学生に対しての教育や啓発活動を強化し、こどもガイドの養成などの文化資産を通じた深い体験と学びの場を提供する。併せて、地域の方がより日本遺産に親しみ、郷土に誇りと愛着を感じられるよう、構成文化財の維持管理や経済活動に参加できる仕組み、活躍の場づくり、担い手育成など、日本遺産を通じて継続的に地域を支えられる人材の育成を図る。

#### 【継続的なインバウンド整備と観光地の面展開】

自立的・継続的に事業に取り組むために、文化財の収益化に向けて協力金などの仕組みの構築を開始している。

さらに、インバウンドや周遊・滞在型観光を受け入れるためのキャッシュレス化や共通券や一本化した予約システムの構築、交通整備も R6 年の世界遺産登録までに定着するよう、検討を開始している。

日本遺産「飛鳥」と世界遺産「飛鳥・藤原」を軸に、飛鳥の地域内に構成文化財が所在する「1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路（大道）～」「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三箇所観音巡礼～」と連携して周遊・滞在型観光を強化していく。さらに、奈良県内に所在する3つの世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物群」「古都奈良の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」や他の日本遺産とも連携して、面的拡大を図っていく。

#### 【継続的な民間業者の巻き込み】

世界遺産登録と合わせて仕組みづくりを進めていくことで、次の展開として民間業者への働きかけも積極的に進めて産業の活性化を図っていく。飛鳥の歴史文化を活用するという共通認識を関係機関と継続的に共有しつつ、価値の磨き上げ、利便性の向上、新たな商品開発、世界に向けた情報発信を展開していく。

#### （４）構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

日本遺産のストーリーによって、歴史文化資源を誰もが容易に理解できるようになり、観光事業者と連携した環境整備や受け入れ体制の強化、多様な体験コンテンツの提供によって、来訪意欲の増加や来訪者の満足度が向上し、ファンの拡大とリピーター創出へ繋げる。日本遺産を活かした観光関連施策を創出し、従来にない視点からの誘客を促進することで、関連する観光事業者だけでなく、周辺の事業者にも波及効果が生まれ、地域全体が活性化することが想定される。

また、日本遺産等による魅力発信を契機として、構成文化財の来訪者を中心に、文化財や景観の維持を目的とした寄付金・協力金の募集や、日本遺産のストーリーや文化財等を活用した物販による、収益化事業を実施する。適切な文化財保護と新たな事業展開へ繋げ、収益化事業を安定化させることにより、来訪者だけでなく関係事業者を含めた地域全体が改めて歴史文化資源の意義やその保存の重要性を認識し、観光経済の活性化と維持管理経費の捻出のサイクルの好循環を確立、持続させていく。

#### （５）他の観光施策との連携

文化観光推進法に基づく「明日香村まるごと博物館地域計画」（令和2～6年度）では、①歴史文化資源の磨き上げの強化 ②歴史文化資源の環境整備の強化 ③来訪者受け入れ体制の強化 ④情報発信の体制整備の強化 を取組強化事項として挙げ、各種事業を行っている。（一社）飛鳥観光協会、（株）星野リゾートが文化観光支援事業者となり、長期滞

在型観光を目指した旅行商品の開発を中心に連携する。ここで中核とする文化観光拠点施設である史跡は、日本遺産「飛鳥」の構成文化財とも重複しており、共通の取組を展開している。

「明日香村観光戦略（仮）」（令和3～7年度）では、歴史文化観光を推進するにあたって日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔けた女性たち～」を観光の付加価値を高める素材として位置付け、活用していく。

## （6）実施体制

協議会の名称：日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会

構成団体：

【民間】一般社団法人橿原市観光協会、一般社団法人高取町観光協会、  
一般社団法人飛鳥観光協会、橿原商工会議所、高取町商工会、  
明日香村商工会、一般財団法人明日香村地域振興公社、  
一般社団法人大和飛鳥ニューツーリズム、奈良芸術短期大学

【行政】奈良県（文化財保存課、文化資源活用課、ならの観光力向上課）  
橿原市（世界遺産登録推進課、文化財課、観光政策課）  
高取町（教育委員会事務局、総合政策課、まちづくり課）  
明日香村（文化財課、総合政策課、産業づくり課）

明日香村文化財課をプロジェクトリーダーとして、橿原市や高取町の担当者と随時協議しながら日本遺産の取り組みを推進している。日本遺産と世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会には重複しているメンバーもあり、日本遺産と世界遺産の情報共有や相互活用はスムーズに行える体制である。SNS や web サイトの更新は協議会事務局で実施しており、情報編集・発信は今後も継続して行っていく。

### [民間事業者との連携]

本協議会は各市町村の観光協会、商工会等の民間事業者が構成団体に含まれ、協力体制にある。その中でも飛鳥観光協会と一般社団法人大和飛鳥ニューツーリズムが日本遺産「飛鳥」に関わる旅行商品の造成に力を入れており、協議会事務局とも随時連絡を取り合い、連携をとっている。

明日香村は（株）星野リゾートと地域活性化包括協定、（株）長谷エコーポレーションと官民連携包括協定、合同会社 DMM. com と包括連携協定を締結しており、日本遺産を含めた村内資源の活用に向けて取り組んでいる。地域外の企業のノウハウを活かして総合的な商品開発等を協同して進めながら、現地での飲食や宿泊、人資源の活用等は地域内の民間事業者に経済効果が浸透するように仕組みをつくり、地域内外の民間事業者と連携する。

(7) 地域活性化計画における目標と期待される効果

期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史文化資源に関する従前の成果を統括的かつ網羅的に把握し、体系立てた日本遺産のストーリーを現地で体感できる仕組みが構築されることや、インバウンドに対応した環境整備、ガイドシステムの構築により、来訪者の多様化と満足度向上につなげることができる。</li> <li>・ 体験型や高付加価値化した魅力的なコンテンツの造成とプロモーションにより、来訪意欲の向上と従来にない視点からの誘客を促進できる。</li> <li>・ 来訪者の増加と満足度の向上から派生する消費経済の活性化により、関連する観光事業者だけでなく周辺の事業者にも波及効果が生まれ、地域全体が活性化することが想定される。</li> <li>・ 歴史文化資源を用いた事業を実施し、地域の活性化につなげることにより、関係事業者を含めた地域全体が改めて歴史文化資源の意義やその保存の重要性を認識することができ、さらなる事業の展開や適切な文化財保護にも繋がると考えられる。</li> </ul>
---------	---

設定目標 I : 日本遺産を活用した集客・活性化

観光客入込み数		具体的な指標：主要施設（石舞台古墳等 5 カ所）の観光客数				
年度	実績			目標		
	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
数値	566,000	590,000	261,000※	590,000	596,000	602,000
目標値の設定の考え方及び把握方法		<p>入場者数が把握可能な主要施設の観光客数を指標とする。明日香村文化財課で毎月把握し集計している。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和元年度の入館者数 590,000 人を令和 3 年度の目標として、毎年 1% 増を見込む。</p> <p>※R3.2 現在。コロナ影響あり。</p>				
関連事業		2-③、4-①、4-②、4-③、4-④、4-⑤、4-⑥、4-⑦、4-⑧、5-⑥、5-⑨、5-⑩、6-⑥、6-⑧、7-②				

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
外国人観光客数		具体的な指標：主要施設（石舞台古墳等3カ所）の外国人観光客数				
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	2,500	1,400	100	1,400	1,500	1,600
目標値の設定の考え方及び把握方法		入場者数が把握可能な主要施設の観光客数を指標とする。明日香村観光担当部局で毎月把握し集計している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和元年度の入館者数1,400人を令和3年度の目標として、毎年1%増を見込む。				
関連事業		5-④、5-⑦				

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
宿泊者数		具体的な指標：明日香村内の宿泊者数				
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	18,000	12,000	2,000	12,000	12200	12400
目標値の設定の考え方及び把握方法		明日香村内宿泊施設での宿泊者数を指標とする。明日香村観光担当部局で毎月把握し集計している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和元年度の入館者数12,000人を令和3年度の目標として、毎年1%増（100以下切り上げ）を目標とする。				
関連事業		2-①、2-②、5-⑤、5-⑧				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
地域の文化に誇りを感じる住民の割合		具体的な指標：地域の文化に誇りを感じボランティア活動を行う住民の延べ活動人数				
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	1,200	1,200	400	1,200	1,400	1,400
目標値の設定の考え方及び把握方法		ボランティアガイドの窓口である3自治体の観光協会から聴取する。令和元年度の延べ人数1,200人を令和3年度の目標として、毎年1%増（100以下切り上げ）を目標とする。				

関連事業	3-①、3-②、3-③、3-④、6-①、6-②、6-③、6-④、6-⑤、6-⑦、6-⑨
------	---

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
日本遺産関連で開発された商品・サービス数		具体的な指標：日本遺産の構成資産を活用した旅行商品の数				
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	2	1	6	7	8	9
目標値の設定の考え方及び把握方法	3自治体の観光協会では把握している数を指標とする。令和2年度の商品数6件を令和3年度の目標として、毎年1件増を目標とする。					
関連事業	1-①、1-②、1-③、5-①、5-②、5-③、7-①					

(8) 地域活性化のために行う事業

(8) - 1 組織整備

(事業番号 1 - ①)

事業名	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会運営		
事業内容	※定例の連絡会議の設置 協議会事業の実施や、各構成団体の活動等の情報共有を目的として、協議会、行政・民間の構成団体担当者によるワーキング会議、行政担当者による行政ワーキング会議を開催し、連絡調整を行う。		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会		
事業期間	令和3年～令和5年		
事業評価指標	その他	具体的な指標	協議会総会実施回数
実績値	平成30年度：1	令和元年度：1	令和2年度：0
目標値	令和3年度：1	令和4年度：1	令和5年度：1
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号 1 - ②)

事業名	日本遺産や文化財に関連したふるさと納税事業		
事業内容	文化財保存や景観維持に対するふるさと納税を実施し、収益による文化財保存活用事業の実施サイクルを実現する。  【対象事業】 檀原市：世界遺産登録への取組及び日本遺産の魅力発信に係る事業 明日香村：文化財の保存活用事業 高取町：訪れたくなるまち 住みたくなるまち		
実施主体	檀原市、高取町、明日香村		
事業期間	令和3年～令和5年		
事業評価指標	その他	具体的な指標	ふるさと納税額（各市町村の文化財関連合計額）
実績値	平成30年度：7,666千円	令和元年度：8,839千円	令和2年度：未確定
目標値	令和3年度：7,000千円	令和4年度：8,000千円	令和5年度：9,000千円
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号 1 - ③)

事業名	歴史文化資源活用事業（協力金の募集）		
事業内容	文化財や景観の維持を目的とした協力金の募集をおこなう。 従来行ってきた、施設等への入場者に対する協力金徴収やふるさと納税等の手法だけでなく、様々な形で協力金を募る手法を検討し、令和4年		

	<p>3月に竣工予定の牽牛子塚古墳などで実施する。  牽牛子塚古墳では来訪者が史跡内を無料で見学することを予定しているが、実際に文化財等の現地を訪れた方や、これから訪れようとする方に向け、協力金に参加したくなるような動機付け、デジタル化やキャッシュレスなどを含めた簡易な手続きの構築、記念品や体験などの付加価値による返礼の工夫など、多彩な手法による募集方法を検討の上、実施する。※明日香村とDMM.comとの連携協定に基づき実施。</p>		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年～令和5年		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村への文化財の保存に対する寄付金額
実績値	平成30年度：6,593千円 令和元年度：7,027千円 令和2年度：未確定		
目標値	令和3年度：7,000千円 令和4年度：10,000千円 令和5年度：1,200千円		
事業費	令和3年度：	令和4年度：	令和5年度：

(8) - 2 戦略立案

(事業番号2-①)

事業名	飛ぶ鳥の古代飛鳥再現プロジェクト（伎楽復元プロジェクト事業）		
事業内容	歴史文化資源のさらなる魅力創出のため、古代における東西アジアとの交流を想起できるような芸能や儀礼、石造文化等について、調査研究によって得られた情報等に基づいて復元し、来訪者が飛鳥時代の空間を総合的に体感することができるイベントを開催する。 伎楽は飛鳥時代に大陸から伝来した無言の仮面劇であり、R3年からR6年の4年計画で伎楽復元プロジェクトを実施する。R3年度は基礎資料の収集、人材の選定、地域内での啓発を行う。R5年度までは調査研究とその成果を還元するワークショップ等を中心に実施し、R6年度以降から実演していく。上演に向けた人材育成の過程で、地域で活動する団体等と協力し、文化活動の機会提供にもつなげていく。 ※令和3年度文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業に申請中		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	伎楽の認知者数 (協力者、ワークショップ等参加者)
実績値	平成30年度：なし 令和元年度：なし 令和2年度：なし		
目標値	令和3年度：100人 令和4年度：150人 令和5年度：200人		
事業費	令和3年度：3,000千円 令和4年度：15,000千円 令和5年度：15,000千円		

(事業番号2-②)

事業名	（仮称）飛鳥劇場設置検討事業		
事業内容	飛躍的な地域活性化を図る目的で、演劇や演舞などを閑散期や夜間も含めて定期的で開催し、村の魅力について臨場感をもって伝えるための、民間資金活用型の（仮称）飛鳥劇場設置に向けた検討を実施する。 劇場では、事業番号2-①で復元した伎楽や、村で現在活動している飛鳥時代が題材の演劇を行う劇団「時空」、伝承芸能保存会による伝承芸能「なもで踊り」をモチーフにした演舞、村内を中心に活動するアーティスト等が出演者となるプログラムを上演し、活動の場の創出や収益化を図り、滞在時間の長時間化や飲食、宿泊等の増加につなげる。飛鳥観光協会がプロモーションの中心を担い、各団体と有機的につながり、事業の構築に向けて取り組む。		
実施主体	明日香村		

事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村内宿泊者数
実績値	平成30年度：18,000人 令和元年度：12,000人 令和2年度：2,000人		
目標値	令和3年度：12,000人 令和4年度：13,000人 令和5年度：14,000人		
事業費	令和3年度：3,000千円	令和4年度：なし	令和5年度：なし

(事業番号2-③)

事業名	明日香まると博物館総合整備プロジェクト		
事業内容	<p>文化観光拠点施設となる歴史文化資源（飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池・飛鳥水落遺跡・酒船石遺跡・石舞台古墳・牽牛子塚古墳・中尾山古墳・キトラ古墳・高松塚古墳）について、さらなる魅力の増進や来訪者の安全・安心かつ快適な利用に寄与できるよう、解説機能のさらなる充実や観光庁の魅力的な多言語解説作成指針に沿った展示の実施、バリアフリー化、Wi-Fi環境整備、キャッシュレス決済の導入、入場料徴収の無人化等を実施する。Wi-Fi環境整備、キャッシュレス決済の導入等については、奈良県の「いかす・なら地域計画」において位置付けられている施設が村内に存在することから、積極的な連携を行い、統一的な視点で導入する。また、特に外国人来訪者に対して歴史文化資源を適切かつ容易に伝えるため、現地で映像を閲覧するための多言語化を含めたVR関連の設備を拡充する。</p> <p>※一部を令和3年度文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業に申請中</p>		
実施主体	明日香村、明日香まると博物館推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村観光実態調査受け入れ環境に対する満足度（案内・誘導について）やや満足以上の割合
実績値	平成30年度：	令和元年度：55.5%	令和2年度：未実施
目標値	令和3年度：55%	令和4年度：57%	令和5年度：60%
事業費	令和3年度：4,640千円	令和4年度：18,000千円	令和5年度：18,000千円

(8) - 3 人材育成

(事業番号3-①)

事業名	プロフェッショナルガイド養成プログラム		
事業内容	日本遺産や世界遺産を含む明日香村全体を総合的に解説できるプロフェッショナルガイドの養成を実施する。専門的知識の獲得だけではなく、多言語化にも対応し、来訪者の有する知識や年齢等に合わせたきめ細かな解説等が実施できる人材の養成プログラムとする。 「飛鳥・藤原まるごと博物館」検定の実施、一定レベルの案内スキルを身に着けた文化観光を推進できる人材の養成のための講座等の開催、世界遺産登録を見据えた英語の翻訳集の作成等を行う。 実施にあたっては、財団法人古都飛鳥保存財団、飛鳥観光協会、明日香まるごと博物館推進協議会、世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会、日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会、桜井市との連携を予定している。 ※令和3年度文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業に申請中		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	プロフェッショナルガイドの年間延べ活動人数
実績値	平成30年度：なし	令和元年度：なし	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：0人	令和4年度：10人	令和5年度：100人
事業費	令和3年度：2,000千円	令和3年度：0千円	令和5年度：0千円

(事業番号3-②)

事業名	歴史に憩う橿原市博物館展示解説ボランティアガイド養成研修		
事業内容	歴史に憩う橿原市博物館の入館者に対し、橿原市の縄文時代から江戸時代までの歴史を解説できるガイドの養成を実施する。来館者の有する知識や年齢等に合わせたきめ細かな解説等が実施できる人材を育成する。特に橿原市の遺跡を代表する、藤原宮跡の詳細な解説を行ない、日本遺産の構成文化財への来訪を促す。		
実施主体	橿原市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	橿原市ボランティアガイド延べ活動者数
実績値	平成30年度：600人	令和元年度：600人	令和2年度：200人
目標値	令和3年度：200人	令和4年度：250人	令和5年度：300人
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号 3-③)

事業名	ボランティアガイド講座		
事業内容	地域内の観光ボランティアガイドへの研修講座を定期的に行い、スキルアップを図る。 【研修先】観光ボランティアガイド（橿原市、高取町、明日香村） あすかり山クラブ（国営飛鳥歴史公園） 飛鳥認定通訳ガイド		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会、橿原市、高取町、明日香村、飛鳥観光協会、橿原市観光協会、高取町観光協会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	ボランティアガイド延べ活動者数（3市町村）
実績値	平成30年度：1,200人 令和元年度：1,200人 令和2年度：400人		
目標値	令和3年度：1,200人 令和4年度：1,300人 令和5年度：1,400人		
事業費	令和3年度：0円 令和4年度：0円 令和5年度：0円		

(事業番号 3-④)

事業名	地域事業者とのワークショップ事業		
事業内容	地域事業者に参加してもらい、日本遺産を周知するツールとして、R2事業で使い捨てコースターを作成。飲食や宿泊事業者に提供し活用してもらう。これをきっかけに、周知や活用方法について意見交換するワークショップを開催する。		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	コースター配布店舗数
実績値	平成30年度：なし 令和元年度：なし 令和2年度：なし		
目標値	令和3年度：3店舗 令和4年度：5店舗 令和5年度：10店舗		
事業費	令和3年度：350千円 令和4年度：350千円 令和5年度：350千円		

(8) - 4 整備

(事業番号 4 - ①)

事業名	牽牛子塚古墳等整備事業		
事業内容	日本遺産・飛鳥女史の一人である齊明天皇が被葬者とされる牽牛子塚古墳は八角形の墳丘を持つ古墳で、隣接する越塚御門古墳と共に飛鳥時代の築造技術を現代に伝える重要な資料である。両古墳の恒久的な保存と活用を目的として墳丘及び周辺整備を行う。 牽牛子塚古墳は凝灰岩を用いて築造当時の姿に墳丘復元を行い、石室を見学可能な状態にする。越塚御門古墳は発掘されたままの石室に覆屋を設置して公開する。 R3 年度末の整備完了を予定している。		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和 3 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	牽牛子塚古墳の来訪者数
実績値	平成 30 年度：なし 令和元年度：なし 令和 2 年度：なし		
目標値	令和 3 年度：500 人 令和 4 年度：10,000 人 令和 5 年度：20,000 人		
事業費	令和 3 年度：128,000 千円 令和 4 年度：0 円 令和 5 年度：0 円		

(事業番号 4 - ②)

事業名	世界遺産解説機能強化事業		
事業内容	日本遺産構成資産等にも関わる村内に点在する遺跡等について、世界遺産登録を見据えながら周辺遺跡との関連ストーリー・飛鳥時代に活躍した人物等が理解できる現地解説板等の整備、多言語化に対応した解説機能の強化を実施する。		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和 3 年度～令和 4 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村観光実態調査受け入れ環境に対する満足度（案内・誘導について）やや満足以上の割合
実績値	平成 30 年度： 令和元年度：55.5% 令和 2 年度：未実施		
目標値	令和 3 年度：55% 令和 4 年度：57% 令和 5 年度：60%		
事業費	令和 3 年度：1,000 千円 令和 4 年度：1,000 千円 令和 5 年度：1,000 千円		

(事業番号 4 - ③)

事業名	齊明天皇の道整備事業		
事業内容	牽牛子塚古墳や齊明天皇にゆかりのある史跡等の周辺にあずまや、解説板、案内サイン等を整備する。日本遺産の内容を盛り込むことで、来訪		

	者が周辺を散策すれば日本遺産のストーリーを体感できる工夫をする。 ※文化遺産観光拠点充実事業に申請予定		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会、明日香村、高取町		
事業期間	令和4年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村観光実態調査受け入れ環境に対する満足度（案内・誘導について）やや満足以上の割合
実績値	平成30年度：	令和元年度：55.5%	令和2年度：未実施
目標値	令和3年度：55%	令和4年度：57%	令和5年度：60%
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：未定	令和5年度：未定

(事業番号4-④)

事業名	越塚御門古墳解説コンテンツ制作事業		
事業内容	事業番号4-①で整備事業を実施している牽牛子塚古墳の関連史跡である越塚御門古墳の石室をわかりやすく解説するための映像制作を実施する。両古墳が造られた歴史的背景及び推定される被葬者の人物ストーリーを、日本遺産の既存コンテンツを用いて映像イメージ化して、越塚御門古墳の覆屋内で放映する。※令和3年度文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業に申請中		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	牽牛子塚古墳の来訪者数
実績値	平成30年度：なし	令和元年度：なし	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：500人	令和4年度：10,000人	令和5年度：20,000人
事業費	令和3年度：2,000千円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号4-⑤)

事業名	藤原宮跡、本薬師寺跡解説コンテンツ制作事業		
事業内容	日本遺産・飛鳥女史の一人である持統天皇に関連する資産である藤原宮跡・本薬師寺跡等周辺の現地見学時における理解をより一層促進するため、文化財のデジタルコンテンツを制作する。 日本遺産の既存コンテンツも用いて、持統天皇のストーリーをわかりやすく解説するものとする。 ※文化遺産観光拠点充実事業に申請予定		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会、橿原市		
事業期間	令和4年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	AR閲覧回数

実績値	平成 30 年度：なし	令和元年度：なし	令和 2 年度：なし
目標値	令和 3 年度：なし	令和 4 年度：100 回	令和 5 年度：500 回
事業費	令和 3 年度：0 円	令和 4 年度：未定	令和 5 年度：未定

事業番号 4－⑥)

事業名	歴史展示推進事業		
事業内容	<p>明日香村埋蔵文化財展示室等において、歴史文化資源の調査によって得た情報を速報展・企画展、発掘体験等を通じて公開するとともに、プロフェッショナルガイド等による解説等により発信し、地下遺構を積極的に公開する。日本遺産のストーリーや世界遺産のみならず、その背景にある関連ストーリーも併せて紹介していく。</p> <p>さらに VR・AR を用いて飛鳥時代の遺跡の造営当初の姿やその造営過程を視覚的に認識できる展示のための映像を制作するとともに、既存の映像等との連携を図る。</p>		
実施主体	明日香村、飛鳥観光協会		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	埋蔵文化財展示室入館者数(土日祝のみカウント)
(実績値)	平成 30 年度：8,600 人	令和元年度：6,800 人	令和 2 年度：5,600 人
目標値	令和 3 年度：6,000 人	令和 4 年度：6,300 人	令和 5 年度：6,500 人
事業費	令和 3 年度：5,370 千円	令和 4 年度：7,300 千円	令和 5 年度：7,300 千円

(事業番号 4－⑦)

事業名	明日香村村内遺跡発掘調査事業		
事業内容	<p>現在は未指定文化財である重要遺跡の学術的価値を明らかにし、日本遺産ストーリーの継続的な磨き上げを図るため、範囲確認調査を行う。飛鳥時代前半期の様相を解明するために甘櫨丘遺跡群の範囲確認調査を実施し、遺跡の保護を図る。</p>		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村発掘調査報告会参加者数
実績値	平成 30 年度：200 人	令和元年度：未実施	令和 2 年度：未実施
目標値	令和 3 年度：200 人	令和 4 年度：200 人	令和 5 年度：200 人
事業費	令和 3 年度：22,900 千円	令和 4 年度：22,900 千円	令和 5 年度：22,900 千円

(事業番号 4-⑧)

事業名	檀原市埋蔵文化財発掘調査		
事業内容	文化財調査によるストーリーの継続的な磨き上げとして、日本遺産の構成文化財である本薬師寺跡の寺域の確認調査を行う。		
実施主体	檀原市		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	発掘調査面積
実績値	平成30年度：118 m <sup>2</sup>	令和元年度：20 m <sup>2</sup>	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：50 m <sup>2</sup>	令和4年度：100 m <sup>2</sup>	令和5年度：120 m <sup>2</sup>
事業費	令和3年度：2,550 千円	令和4年度：5,880 千円	令和5年度：5,000 千円

(8) - 5 観光事業化

(事業番号5-①)

事業名	日本遺産旅行商品開発事業		
事業内容	高付加価値な日本遺産の旅行商品の開発を行う。日本遺産に興味のある富裕層をターゲットに、一般的な関連施設を見学するだけのツアーではなく、「学び」と「体験」に重点を置き、日本遺産の魅力をツアー客に伝える付加価値の高いツアーの造成をクラブツーリズムと共に開発する。齊明天皇と持統天皇のストーリーをツアーのテーマとし、文化財に関わりの深い「語り部」やプロフェッショナルガイドによる案内、通常立ち入りできないエリアの特別公開など、特別感のある体験プログラムを盛り込む。 商品開発に当たっては、プレツアーやマーケティング等により内容を練り上げるとともに、参加者による情報拡散による効果を狙う。協議会構成メンバーである各種団体や地域の民間事業者と連携し、地域の観光資源を積極的に活用する。 ※令和3年度文化遺産観光拠点充実事業に申請予定		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会、クラブツーリズム		
事業期間	令和3年		
事業評価指標	その他	具体的な指標	ツアー参加人数
実績値	平成30年度：	令和元年度：	令和2年度：
目標値	令和3年度：35人	令和4年度：80人	令和5年度：120人
事業費	令和3年度：1,500千円	令和4年度：未定	令和5年度：未定

(事業番号5-②)

事業名	日本遺産関連物販商品開発事業		
事業内容	日本遺産に関連する物販商品開発を行う。歴史好きな層だけでなく、域内に訪れた若年層や家族連れなどのライトな観光客層にも手に取ってもらえるような商品とし、日本遺産の周知と消費単価の向上につなげる。製造や販売を地域の民間事業者に担ってもらうことを想定。 ※令和3年度文化遺産観光拠点充実事業の活用を検討		
実施主体	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	販売店舗数
実績値	平成30年度：なし	令和元年度：なし	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：3	令和4年度：4	令和5年度：5
事業費	令和3年度：1,500千円	令和4年度：未定	令和5年度：未定

## (事業番号5-③)

事業名	明日香観光地ビジネスモデル構築事業		
事業内容	<p>インバウンド客をターゲットとした体験型の旅行商品の開発を行う。JTB と協力し、醤油蔵や豆腐店、農家等の地元業者のもとで体験を通じた中期滞在型の商品開発や、サイクリングガイドツアーに特化した業者 sokoiko!のもとでファシリテーターの養成やルート構築等の商品造成を行い、地元資源の磨き上げ、消費単価の拡大につなげる。体験プログラムやルート構築にあたっては、日本遺産の構成文化財やストーリーと連携させ、域内連携を促進する。</p> <p>※令和3年度地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進事業に申請予定</p>		
実施主体	明日香村商工会		
事業期間	令和3年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	ファシリテーター実活動数
実績値	平成30年度：なし	令和元年度：なし	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：3	令和4年度：5	令和5年度：5
事業費	令和3年度：15,000千円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

## (事業番号5-④)

事業名	新時代の観光モデル創出事業		
事業内容	<p>富裕層を対象とした「国宝高松塚古墳壁画」や「国宝キトラ古墳壁画」、「齐明天皇陵と言われる牽牛子塚古墳と越塚御門古墳」、「蘇我稲目墓と言われる都塚古墳」などの日本遺産・世界遺産を活用した学芸員によるガイド付きツアーや、西国三十三箇所「岡寺」の日本一大きい塑像である「重要文化財如意輪観音坐像」の御前で夜間の厄除け護摩法要と普段は非公開の「重要文化財岡寺書院」での湯茶接待など、明日香村独自の観光資源を活用して、小規模化/高付加価値化/オペレーションのデジタル化を通じた体験プログラムの造成を行う。さらに、高付加価値体験プログラムのオンライン化を本事業で構築することにより with コロナでも実施可能として、after コロナの販売促進に繋げる。</p> <p>令和2年度博物館・文化財等におけるナイトタイム支援事業により、「国宝高松塚古墳」オンラインVRツアー、「岡寺」の厄除け護摩法要ナイトタイムツアーを開発し、体験型旅行のプラットフォームである Airbnb で販売を開始している。今後も実施を継続するとともに、コンテンツの追加やブラッシュアップを継続していく。</p>		
実施主体	明日香村、星野リゾート、飛鳥観光協会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村宿泊者数

実績値	平成 30 年度 :	令和元年度 :	令和 2 年度 :
目標値	令和 3 年度 :	令和 4 年度 :	令和 5 年度 :
事業費	令和 3 年度 : 2,000 千円	令和 4 年度 : 2,000 千円	令和 5 年度 : 2,000 千円

(事業番号 5-⑤)

事業名	SDGs と総合的探求学習プログラムの確立による教育旅行及び企業研修		
事業内容	国内外私立学校及び国立学校の教育旅行の誘致やデイトリップ（日帰り体験プログラム）の受入体制強化、企業研修プログラムの構築推進、民家ステイ・地域の飲食、宿泊、歴史文化資源等を活用した商品造成による明日香での滞在時間拡大等により、地域内での消費単価向上による経済活性化を目指す。		
実施主体	明日香村、大和飛鳥ニューツーリズム		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村宿泊者数
実績値	平成 30 年度 : 18,000 人	令和元年度 : 12,000 人	令和 2 年度 : 2,000 人
目標値	令和 3 年度 : 12,000 人	令和 4 年度 : 13,000 人	令和 5 年度 : 14,000 人
事業費	令和 3 年度 : 3,000 千円	令和 4 年度 : 2,000 千円	令和 5 年度 : 2,000 千円

(事業番号 5-⑥)

事業名	飛鳥女史と歴史散歩		
事業内容	シニア女性をターゲットとした講演会等イベントを開催し、飛鳥時代に活躍した女性をを題材に、歴史資産をめぐる旅の楽しみ方を提案する。		
実施主体	橿原市		
事業期間	令和 3 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	聴講者数
実績値	平成 30 年度 : なし	令和元年度 : なし	令和 2 年度 : なし
目標値	令和 3 年度 : 20	令和 4 年度 : なし	令和 5 年度 : なし
事業費	令和 3 年度 : 0 円	令和 4 年度 : 0 円	令和 5 年度 : 0 円

(事業番号 5-⑦)

事業名	公開活用のための整備に係る事業		
事業内容	来訪者が現地でインターネットに接続し情報活用出来るようにするため、wi-fi 環境を追加整備し、さらなる充実を図る。観光拠点となる施設への整備は進んでいるが、日本遺産構成文化財周辺でのネットに接続環境を強化し、インバウンドを含む来訪者にとって理解の促進、満足度向上に繋げる。		
実施主体	協議会、橿原市、高取町、明日香村		

事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村観光実態調査受け入れ環境に対する満足度（Wi-Fi環境充実度）普通以上が
実績値	平成30年度：	令和元年度：92.7%	令和2年度：非実施
目標値	令和3年度：90%	令和4年度：90%	令和5年度：90%
事業費	令和3年度：2,000千円	令和4年度：未定	令和5年度：未定

(事業番号5-⑧)

事業名	新たな滞在型観光地基盤整備事業		
事業内容	村内での滞在を楽しめるよう、「新たな滞在型観光地」として、滞在型観光のメニューとなる村内の宿泊施設や飲食店、観光施設、交通手段の予約・手配を一括して管理できるシステムの構築・運営方法等の検証を村内事業者や交通事業者等と連携して実施する。また、村内の歴史文化資源の入場券や交通、飲食、宿泊を一括した「明日香まるごと共通券」の発行も関連事業者と連携して行う。ゲートウェイ施設の拠点化も視野に入れ、長期滞在者に明日香をまるごと体感できる仕組みを構築する。R3年度は村内周遊における共通券システムや文化観光拠点施設（日本遺産・世界遺産の構成資産）、観光施設の年間パスポート等の導入に向けた検討、村内商工業者との連携に向けた検討を実施する。		
実施主体	明日香村、星野リゾート		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村観光実態調査受け入れ環境に対する満足度（案内・誘導について）やや満足以上が
実績値	平成30年度：	令和元年度：55.5%	令和2年度：非実施
目標値	令和3年度：55%	令和4年度：57%	令和5年度：60%
事業費	令和3年度：4,000千円	令和4年度：19,000千円	令和5年度：6,000千円

(事業番号5-⑨)

事業名	シームレス交通基盤整備事業		
事業内容	観光客等の円滑な村内移動に活用されている周遊バスの運行に加えて、ゲートウェイ施設や鉄道駅、史跡・名所、観光拠点施設間をつなぐ、自動運転技術を視野に入れた新たな効率的な周遊手段を創出するとともに、利用促進に向けた取り組みを企業や国営公園等と連携し、誰もがシームレスに移動できる交通体系を構築する。また、MaaSの構築を視野に		

	入れた村内の交通体系の見直しも実施しており、安全・安心かつ快適な移動手段の確保を目指し、2021年から新たな交通体系の実証運行を実施する予定である。		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	周遊バス年間利用者数
実績値	平成30年度：87,168人 令和元年度：105,444人 令和2年度：未確定		
目標値	令和3年度：60,000人 令和4年度：70,000人 令和5年度：80,000人		
事業費	令和3年度：30,250千円 令和4年度：28,000千円 令和5年度：28,000千円		

(事業番号5-⑩)

事業名	観光トイレ整備事業		
事業内容	コロナウイルス感染防止対策の取り組みとして、檀原市内の観光トイレの自動手洗い・水洗等を行なう。		
実施主体	檀原市		
事業期間	令和3年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	藤原京資料室の来室者
実績値	平成30年度：21,000人 令和元年度：18,000人 令和2年度：5,000人		
目標値	令和3年度：18,000人 令和4年度：19,000人 令和5年度：20,000人		
事業費	令和3年度：12,000千円 令和4年度：未定 令和5年度：未定		

(8) - 6 普及啓発

(事業番号6-①)

事業名	アサガオプロジェクト		
事業内容	<p>日本遺産・飛鳥女史の一人である齊明天皇が被葬されたとされる牽牛子塚古墳と、牽牛子塚古墳の名前の由来である「アサガオ」を活用した地域活性化に向けた総合活用プロジェクトを実施する。観光資源としての活用、地域学習への活用、地元住民との協働に向けた取組みとする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・牽牛子塚古墳周辺へのアサガオの植栽 史跡地周辺や遊休農地でのアサガオ植栽により景観美化を図るとともに、女性や若年層にも訴求力の高い花を活用することで、歴史ファンだけでなく幅広い層の誘客につなげる。また、植栽に地域住民の協力を得られるよう働きかけをすることで、日本遺産の地域への周知に繋げる。</li><li>・地元小学生を対象とした学習・イベント等 古墳築造時の姿を復元した牽牛子塚古墳で、墳丘貼石に記名するイベントの開催 こども学芸員の養成</li><li>・あさがおアートなど、関連ワークショップの開催</li></ul> <p>※実施に当たっては、明日香村地域振興公社、飛鳥観光協会と連携協力する。</p>		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	牽牛子塚古墳への来訪者数
実績値	平成30年度：なし	令和元年度：なし	令和2年度：なし
目標値	令和3年度：500人	令和4年度：10,000人	令和5年度：20,000人
事業費	令和3年度：1,450千円	令和4年度：1,000千円	令和5年度：1,000千円

(事業番号6-②)

事業名	高松塚古墳壁画発見50周年事業		
事業内容	<p>構成文化財の一つである国宝高松塚古墳壁画が令和4年3月に発見50年を迎えるにあたり、考古学ブームの火付け役となり、文化財保護の契機となった壁画の価値を改めて周知するための各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講演会、シンポジウム、特別展示等の開催</li><li>・メディアを活用した情報発信</li></ul> <p>※報道各社、関西大学、古都飛鳥保存財団などが主催となり、連携して実施</p>		

実施主体	明日香村、奈良県、民間事業者等		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	高松塚壁画館入館者数
実績値	平成30年度：83,000人	令和元年度：73,000人	令和2年度：38,000人
目標値	令和3年度：70,000人	令和4年度：71,000人	令和5年度：72,000人
事業費	令和3年度：	令和4年度：	令和5年度：

(事業番号6-②)

事業名	小中学校総合学習		
事業内容	歴史教育を含めた郷土学習を幼小中一貫教育の中で推進し、明日香郷土学習プログラムを展開する。明日香村では郷土学習に使用する副読本の中に日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」について記載しており、郷土学習へ積極的に取り入れていく。		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	小学校6年生の年間総合学習時間70時間のうち、歴史学習に充てた時間
実績値	平成30年度：10時間	令和元年度：10時間	令和2年度：10時間
目標値	令和3年度：10時間	令和4年度：10時間	令和5年度：10時間
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号6-③)

事業名	高取国際高校との連携		
事業内容	高取町と明日香村は奈良県立高取国際高等学校と相互連携に関する協定書を締結している。総合学習の「あすか学」で講師として職員を派遣し、日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」のストーリー等を用いた学習を実施する。また、生徒のボランティア活動等でも連携を図る。		
実施主体	明日香村、高取国際高校		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	協議会関連団体からあすか学への年間派遣回数
実績値	平成30年度：	令和元年度：	令和2年度：12回
目標値	令和3年度：10回	令和4年度：10回	令和5年度：10回
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

## (事業番号6-④)

事業名	関西大学との連携		
事業内容	明日香村と関西大学は学術・文化交流に関する覚書を締結している。発掘調査や世界遺産登録推進、高松塚古墳壁画発見 50 周年事業等において連携し、講演会「かんだい明日香まほろば講座」「史学文学講座」などを開催している。引き続き、日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」の普及啓発に取り組む。		
実施主体	明日香村、関西大学		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	かんだい明日香まほろば講座の参加者数
実績値	平成30年度：839人	令和元年度：823人	令和2年度：未確定
目標値	令和3年度：800人	令和4年度：800人	令和5年度：800人
事業費	令和3年度：	令和4年度：	令和5年度：

## (事業番号6-⑤)

事業名	飛鳥の魅力発信事業		
事業内容	<p>世界遺産登録の実現をさらに推進するため、最新の発掘調査成果や東アジアにおける交流の歴史・万葉文化等の明日香村の歴史文化の魅力を日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」等を活用しつつ、講演会や展覧会等を通じてわかりやすく国内外に発信する。</p> <p>また、国や県、関係機関と連携し、高松塚古墳壁画発見 50 周年や牽牛子塚古墳文化財指定 100 周年等の周年を契機として、改めて歴史文化資源が有する本質的価値を誰もが理解できるとともに、わかりやすく魅力を発信するための事業を展開する。</p> <p>さらに、世界遺産登録を見据え、明日香村内に点在する遺跡での発掘調査等を通じて得られた情報をデジタル化し、明日香村や奈良文化財研究所が運営する全国遺跡報告総覧等のWebサイト等においてわかりやすく公開することで、世界遺産をはじめとした村の魅力を国内外に伝え、その背景にある歴史的風土の保存と活用への理解・協力を得る。</p>		
実施主体	明日香村		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	明日香村主要施設（石舞台古墳等5か所）の観光客数
実績値	平成30年度：566,000人	令和元年度：590,000人	令和2年度：261,000人
目標値	令和3年度：590,000人	令和4年度：596,000人	令和5年度：602,000人
事業費	令和3年度：6,870千円	令和4年度：5,500千円	令和5年度：5,500千円

## (事業番号 6-⑥)

事業名	藤原宮跡花園植栽事業		
事業内容	藤原宮跡の周知と啓発や環境保全を目的として、地域住民と共に藤原宮跡の約 54,000 m <sup>2</sup> において、春、夏、秋の季節の花を植栽する。		
実施主体	檀原市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	藤原京資料室来室者
実績値	平成 30 年度 : 21,000 人	令和元年度 : 18,000 人	令和 2 年度 : 5,000 人
目標値	令和 3 年度 : 7,000 人	令和 4 年度 : 8,000 人	令和 5 年度 : 9,000 人
事業費	令和 3 年度 : 9,000 千円	令和 4 年度 : 9,000 千円	令和 5 年度 : 9,000 千円

## (事業番号 6-⑦)

事業名	観光誘客促進事業		
事業内容	首都圏や東海圏において檀原市をはじめとする飛鳥・藤原の PR を行なうイベントを開催する。		
実施主体	檀原市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	檀原市宿泊者数
実績値	平成 30 年度 : 191,000 人	令和元年度 : 202,000 人	令和 2 年度 : 86,000 人
目標値	令和 3 年度 : 85,000 人	令和 4 年度 : 86,000 人	令和 5 年度 : 87,000 人
事業費	令和 3 年度 : 2,000 千円	令和 4 年度 : 2,000 千円	令和 5 年度 : 2,000 千円

## (事業番号 6-⑧)

事業名	自ら学び考える校外学習事業		
事業内容	歴史に憩う檀原市博物館における校外学習において、所蔵資料のハンズオン体験や、生徒自身の生活との比較を通して、飛鳥時代、特に藤原京の時代に生きた人々への理解を深める。		
実施主体	檀原市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	来校数
実績値	平成 30 年度 :	令和元年度 :	令和 2 年度 :
目標値	令和 3 年度 : 3 校	令和 4 年度 : 4 校	令和 5 年度 : 5 校
事業費	令和 3 年度 :	令和 4 年度 :	令和 5 年度 :

(8) - 7 情報編集・発信

(事業番号7-①)

事業名	日本遺産「飛鳥」web サイト運営事業		
事業内容	協議会では日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」のweb サイトにて情報発信し、ストーリーの解説を行っている。多言語化(5カ国語)に対応し、飛鳥女史紀行読本もサイト上で公開している。多言語対応した動画ストーリーも Youtube で公開し、web サイトとリンクさせている。令和3年度はシステムバージョンアップと改修を実施し、引き続きweb サイトの活用を行うと共に、必要に応じて Youtube 上に関連動画の追加公開を検討する。		
実施主体	協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	チャンネル登録者数 (Youtube)
実績値	平成30年度：不明	令和元年度：不明	令和2年度：3,000人
目標値	令和3年度：3,100人	令和4年度：3,200人	令和5年度：3,300人
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円

(事業番号7-②)

事業名	SNSによる情報発信事業		
事業内容	協議会にて Facebook と twitter で情報発信を行う。イベントや関連情報について発信し、日本遺産及び飛鳥ファンの拡大を目差す。		
実施主体	協議会		
事業期間	令和3年度～令和5年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	Twitter フォロワー数
実績値	平成30年度：不明	令和元年度：不明	令和2年度：500人
目標値	令和3年度：550人	令和4年度：600人	令和5年度：650人
事業費	令和3年度：0円	令和4年度：0円	令和5年度：0円